

# 会 議 録

会議の名称	第 2 期 小金井市地域自立支援協議会（第 2 回）
事務局	福祉保健部障害福祉課、地域生活支援センターそら
開催日時	平成 22 年 4 月 19 日（木） 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分
開催場所	前原暫定集会施設 A 会議室
出席者	<p>【委員】</p> <p>伊藤良子委員(会長)、矢野典嗣委員（副会長）、森田純司委員、大久保昌弘委員、山田満里子委員、山田正市委員、吉沢幸子委員、枡本敬子委員、中村悠子委員、斎藤修委員、秦郁江委員、富澤淳一委員、佐久間育子委員</p> <p>【事務局】</p> <p>障害福祉課障害福祉係長 藤井知文 障害福祉課相談支援係長 高田明良 障害福祉課相談支援係 澤畠武士 地域生活支援センターそら 施設長 熊倉弘子、伊藤奈保子</p>
傍聴の可否	可
傍聴者数	1 人
会議次第	別紙会議録のとおり
会議結果	別紙会議録のとおり
提出資料	添付のとおり

## 第 2 期 小金井市地域自立支援協議会（第 2 回） 議事要旨

日時：平成 22 年 4 月 19 日(月) 14：00～16：00

場所：前原暫定集会施設 A 会議室

出席者：協議会委員 13 名（欠席 0 名）

小金井市福祉保健部長

障害福祉課障害福祉係長

障害福祉課相談支援係長

障害福祉課障害福祉係

地域生活支援センター そら（2 名）

配布資料 1： 自立支援協議会セミナー当日資料（資料 1-1）

2： 障害者権利条約で社会を変えたい（資料 1-2）

3： 第 2 期第 1 回自立支援協議会 意見集約（資料 2-1）

4： 第 2 期小金井市自立支援協議会開催日予定表（資料 2-2）

5： 精神障害者の理解を深めるために → 富澤委員

6： 障がい者制度改革推進会議

7：「東京の福祉保健の新展開 2010」→ 矢野委員

8： 障害者が安心して暮らせる社会の実現を目指します → 矢野委員

9： 平成 21 年度第 5 回小金井市地域自立支援協議会議事要旨

10： 第 2 期小金井市自立支援協議会（第 1 回）議事要旨

開催にあたって、事務局より資料の確認。

### 1. 開会

事務局（高田係長）	・開会に先立ち、小俣保健福祉部長より挨拶。
小俣保健福祉部長	・3 月の議会で予算が確定されたが、今年度の市の予算は 413 億円。昨年度は 350 億円。予算増の理由は、市民交流センターの取得と子供手当。その支出額は約 60 億円。すなわち、実際の予算額については昨年度とほぼ同額となっている。障害福祉の予算は、21 年度は 15 億 2900 万円。22 年度は 15 億円 6800 万円。3900 万円の増額となり、一定の充実がはかられていくと思われる。 ・市の財政は借金財政となっている。厳しい財政は今後も続くとは思われるが、市民の方々への福祉予算については最大限努力していくつもり。 ・福祉保健部は、課長補佐以外の職員が引き続き担当。この 1 年間、チームをしっかりと組んで、保健福祉の充実へ努めていきたいと思っている。今後も委員の皆様からの協力を賜りたい。
高田係長	・4 月の人事異動に伴い、事務局員の紹介を行なう。林障害福祉課長補佐が市民部市民課へと異動。後任として、企画財政部企画政策課より藤井係長が着任。
事務局（藤井係長）	・障害福祉のことについて何もわからない状態ではあるが、皆様に教えていただきながら一緒に頑張っていきたいと思っている。よろしくお願ひしたい。

## 2. 議題

### (1) 自立支援協議会セミナー（3月1日開催）の報告

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"><li>・出席者13名により、本協議会は成立。</li><li>・議題（1）自立支援協議会セミナー（3月1日開催）について、矢野副会長より報告をお願いしたい。</li></ul>
矢野副会長	<p>・資料1-1参照。三多摩地区で初めて東京都がセミナーを開催。2つの講演があった。「自立支援協議会の活性化にむけて」という東洋大学の小沢先生の講演会では、各市の自立支援協議会に参加しながら、いろいろと活動についての報告があった。障害者自立支援法の問題点を含めて、障害者制度改革推進会議の中味を開設していただいた。</p> <p>・国連で承認された障害者権利条約を日本の批准に向け、その動向についての解説があった。権利条約に関する一番わかりやすい資料として、資料1-2「障害者権利条約で社会を変えたい」を推薦し、事務局にて用意した。</p> <p>・地方の場合は地域社会が狭いので、社会資源は少ないが、ネットワークは比較的作りやすい。その中で地域住民も地域社会の中で障害のある人を受け入れながら、いろいろな取り組みができる。しかし、都会である東京はそのようなネットワークを構築することはなかなか難しいだろうという話も出ていた。東京都の中でそれをどのようにしていくのかということが、東京都の自立支援協議会の課題ということでまとめられていた。</p> <p>・多摩総合精神保健福祉センターの向山先生の講演では、相談支援を適切に行うためにはどのようにしたらよいか、相談支援をどのようにすすめていくのかということを自分の体験も含めての内容だった。相談支援とは何なのか。誰のために何をどうするのかということを基本に考えて対応しなければならないということ。相談者のアセスメントをする時に、何のために相談者が来たのかということを確認することと何を必要としているのかということをお互いに確認しながら、話を聞いて次の手立てを考えていくということが大事。その後、各関係機関と連携を取りながら課題やトラブルを解消し、快適な生活ができるよう支援をしていく。それに関する事例も紹介された。</p> <p>・第2部はグループ討議となり、振り分けられた10人前後のグループで活動紹介などを行ない交流した。事例研究をされている自治体が多くあった。事例研究は、分科会に分かれて行なっているため、自立支援協議会全体での会議は年に2～3回となり、その会議も事例の研究報告で終わり、先へ進んでいないとの話もあった。</p> <p>・協議会での課題を全体の政策へどのように反映させていけるのかということを感じた。</p> <p>・障害者制度改革推進会議の内容がホームページにアップされている。各委員から出される資料は膨大。月2回半日ぐらいをかけて協議されている。第1回から第7回まで開催されている。是非、目を通していただきたい。</p>
吉沢委員	<p>・資料P.15。頻度や回数のみが重要となる協議会で終わらないよう、行政がこれまで知らなかったことを知っていく機会となっていくことが大切。これからの協議会の役立つ話が多くあった。</p> <p>・小さなことでも行政に対して質問をしていく。しかし、単に質問に対する答弁になるのではなく、問題を共有化してどのようにしていったらいいのかとい</p>

	<p>うことまで発展させていけたらと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチが大切。当事者ひとりの問題ではなく、問題は家族全体の問題としての目線を持って内容を深めていくということが大切だと感じた。</li> <li>・向山先生の話の中では、支援者は非常にきめ細やかな援助ができているが、一方非常に熱心で非常に責任感のある方も多く自分のことも第一に考えて、燃えつき症候群にならないよう仲間を増やし、心の健康維持に気をつけてほしいとの話もあった。</li> </ul>
枡本委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークを構築していくことが難しいということを実感している。街の中で市民が縁を作って、つながりを持ち、お互いの顔を合わせていろいろな情報交換ができ、それが協議会のような場へ結びつくようなことができればと思う。それにより、支援の仕方がただ制度に頼るのではなく、本当の助け合いができるのではないかと思った。</li> </ul>
山田正一委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい内容ではあったが、第 2 部のグループ討議では、西東京市の精神障害者の退院時のホームヘルプサービスについての話をした。現状は、市の担当者の力量不足でなかなか話がスムーズに行かず、ヘルパーの役割が果たせず苦勞しているとの話があった。他市の状況として、質問されたが状況をよく知らなかったため答えることができなかった。小金井市ではどのようなになっているのか。</li> </ul>
吉沢委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局（熊倉）へ回答を求める。</li> </ul>
事務局（熊倉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院からの依頼を受けて、退院時から関わることもある。</li> <li>・サービス利用計画を指定相談支援事業所は作成する事業を受けている。ひとりひとりの希望を聞き、作成したケアプランに沿って関係者との調整しながら支援にあたっている。</li> <li>・「そら」では 6 名の方にサービス利用計画を作成している。その内の 2 名は退院時から支援にあたっている。</li> <li>・サービスの利用調整は、地域の社会資源のことや関係機関と連携の善し悪しも影響してしまう部分もある。当事者の希望を言葉だけではなく気持ちを含めてどこまで聞き取ることができるかは、やはり課題。</li> <li>・指定相談支援事業所としては、担当した者によって、支援の差が出るようなことのないようにしなければならないとも感じている。</li> <li>・グループ討議では、協議会は分科会に分かれて行っている市が多くあったが、課題ごとに集まったものの、その課題が話終えた後、次はどのテーマにしようかという所で行き詰ってしまったり、全体会にうまくからめられずに立ち往生しまうなどの話があった。</li> <li>・小金井市では自立支援協議会を全体会にて開催している報告を行ったが、一長一短と感じた。どちらから始めるにしても課題は出る。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の進め方についてとても参考になる報告だった。</li> <li>・報告を受けての感想や質問などお願いしたい。</li> </ul>
一同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告を受け、大変内容の濃いセミナーだったと感じ、参加できなかったことを残念に思う。</li> <li>・会長、副会長、事務局にて事前会議を開催した際にも権利条約についての勉強会の開催などについても話が出された。協議会の中で、今後も勉強する機会を持てるとよいと感じた。</li> </ul>

(2) 今期の自立支援協議会の進め方について（提案）

伊藤会長	・資料２－１について事務局より報告を願いたい。
事務局（熊倉）	・資料２－１参照。前回の協議会の中で出された意見をまとめたもの。 ・現障害者計画への進捗状況を評価していく作業、課題に対しての検証を行ない解決のためのシステムづくりとネットワークづくりを行なうことの大きく分けて２点に整理できる。
伊藤会長	・３月１８日に事前会議を開催し、今後の方向性について事務局で協議を行なった。 ・現計画の進捗状況を評価しながら、課題解決をすすめていくことができるのではないと思われる。 ・限られた時間の中で行なうためには、計画のＰ．３０にある小金井市における障害のある人を取りまく課題について６つの課題にまとめられている。ある程度は、当事者や家族の声を反映させている結果となっている。この６つの課題を軸にしながら、進捗状況を市から提示してもらい、委員の皆様で検証していくことはいかがだろうか。 ・課題の検証の中で、関わっている状況や問題などをあげていただきたい。簡単な事例も出してもらえればとも思う。整理しながらネットワークの在り方などを検討できればとも思う。 ・以前の会議で、矢野副会長からネットワーク図の提案があったが、これを完成させ小金井市の包括的なネットワークを完成していければと思っている。ネットワーク図は拡大し、会議開催時に貼り出し、それを利用して話を進めていけるとよいのではないかと。 ・今年度は、会議を毎月１回開催する予定となっている。毎回１課題をテーマに課題を検証し、次期計画の見直しへとつなげていきたい。 ・今期は専門部会にすることはせず、全体会で検討しネットワークの構築へとつなげていきたい。
森田委員	・会長の意見に賛成。年間の予定も決まっており、全１１回の開催でテーマに沿って、集中して課題の検討に入れるのは協議しやすいと思われる。
伊藤会長	・矢野副会長より補足をお願いしたい。
矢野副会長	・具体的な施策がこの２年間でどのように進んでいるのかということについての検証がひとつ。 ・障害を抱えた当事者や家族が自立した生活を送るために制度等が十分なのかどうかの検証し、それぞれ具体的な事例を出してもらいながら小金井市の現状と照らし合わせていきたい。 ・課題それぞれの検討は、結局どの課題にもつながる内容でもある。議論をするきっかけとして、この課題の検証していく。協議会の議論を政策作りに反映させるための方法として考えた。
中村委員	・始めてみなければわからないので、進めてみたらよいと思う。
秦委員	・昨年１年間で各団体の紹介をしたことによって理解が深まったのはとてもよかった。 ・とにかくやってみないとわからないが、難しさも感じている。どの市も悩みながらやっている状況。課題の共有を行う方がやりやすいのではないと思う。
斎藤委員	・課題の検討と進捗状況の検証作業で落ち着く形でよいと思う。どのように展

	<p>開していけるのか楽しみでもあるが、どのような方向になっていくのか正直わからない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労については、やはり考えていってほしい部分ではあるので、その課題の際には話をしていきたい。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の計画は、都からの数値目標があり後追いな計画の立て方だったように感じるので、次期計画は自分たちでしっかりチェックし反映させていきたいと思っている。</li> <li>・市へ少しでも反映してもらえることを期待して課題の検討を行ないたい。</li> <li>・ネットワーク図のように形になるものを完成させることも必要と思う。それぞれが気づいた点を記入していくことで完成に近づけるのではないかな。</li> <li>・会議開催の前に、事務局側で数値などを準備してもらい、進めていく予定。</li> </ul>
富澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労と生活という2つに分かれる分科会も計画されたが、分かれたところでどちらにも関わりのあることであれば分かれることも難しい。</li> <li>・新たに計画を策定するというのであれば、課題の検証作業についての提案に賛成する。</li> </ul>
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他委員と同意見。まず、始めてみることに賛成する。</li> </ul>
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立に関わる様々な支援として、年代別のあり方の検討は必要だと思う。それぞれの段階で生活をどう支えるのかをひとつのものとして共有することは必要だと思う。提案に賛成する。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の検証を始めてみるということでスタートしたい。</li> <li>・検証する順番についてはどうか。このまま1番から順番に検討を重ねていくことでよいか。</li> </ul>
斎藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進め方としては、会議1回につきひとつずつ進めていくのか。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議1回につき、ひとつの課題の検討となる。</li> </ul>
斎藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題3は早い方がいいのではないかな。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連性で言えば、1の次は3の検討がよいか。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な項目をあげ、22年度までの進捗率を出し、どのようなあり方がいいのか議論し、不足している部分など包括的に挙げられるとよいのではないかな。</li> <li>・どの程度達成されているか確認し、項目に縛られずに議論を深めていく方がよいのではないかな。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず次回は、課題1を検討し、その後については事務局で検討する。</li> <li>・市からは、進捗状況の提出をお願いしたい。</li> <li>・各委員には、その課題に対しての問題提起など提供をお願いしたい。</li> </ul>
矢野会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各障害者の団体の代表者の方に参加していただき、話を聞く機会を設け、その声も反映させていきたい。</li> <li>・市から数値目標など進捗状況の報告をお願いしたい。</li> </ul>
事務局（高田係長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応可能。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢野委員のように具体的な提案があれば随時お願いしたい。</li> </ul>
佐久間委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉課以外の内容も多く含まれている。どこまで詳細な情報（数値等）が必要なのか。</li> <li>・調査の関係上、順番はこのままお願いしたい。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、市営住宅などのここ2年間での増減などについての報告でもかまわないと思う。議論のための数値が必要。</li> </ul>

	・まちづくり推進協議会の内容でも構わない。
佐久間委員	・庁内連絡会にて協力依頼の話をする。
富澤委員	・それぞれがどの程度の進捗状況なのかを知りたい。
矢野委員	・すべてが数値化できるものではないと思う。
佐久間委員	・可能な限り対応したい。

### (3) 今後の日程について

伊藤会長	・資料２－２参照。今期は、第３月曜日にて設定した。この日程で異論はないか。 ・８月１６日が予定されているが、その日程について検討願いたい。
吉沢委員	・８月１６日の出席はできない。
秦委員	・６つの課題であれば、８月１６日を開催しなくても差し障りがないのではないか。
伊藤会長	・８月は非開催ということで決定する。今期の自立支援協議会は、全１０回とする。
一同	・異議なし。
矢野委員	・議事日程を含めた新しい日程表を作成し、各委員へ周知する。
森田委員	・研修の関係で５月１７日の出席はできない。

## ３. その他

### (1) 障害者、精神障害者への理解を深めるために（資料）について

伊藤会長	・富澤委員より資料の紹介をお願いしたい。
富澤委員	・資料参照。東京学芸大学の先生と製薬会社がタイアップして作成したうつ病に関する教材を作るにあたって、事前に中学校を対象にアンケート調査を行なった。その内容をプリントアウトしたもの。 ・精神障害者福祉について、学校教育の現場でも理解を深めていくことの大切さが資料からもわかる。
佐久間委員	・３月２８日１３：３０～１７：００に現在行なわれている第４次基本構想の前期の基本計画に関する市民フォーラムが開催された。障害福祉に関する部分で、市民の方から、障害のある人特に精神障害の周知がなされていないため、小・中学校の教育の一環として説明をする必要があるのではないかととの質問があった。特別支援ネットワーク協議会の中で、周知方法について検討がなされていくと思われる旨回答した。 ・その後教育委員会の指導室に確認をとり、回答を得た。今後、教育の一環として考えていきたいと思っているとの内容だった。小・中学校生に対しての周知について、以前よりも検討が進められている。

### (2) 障がい者制度改革推進会議について

伊藤会長	・佐久間委員より資料の説明をお願いしたい。
佐久間委員	・「障がい者制度改革推進会議」資料参照。 ・P. 28の資料一覧「資料３ 障害の表記に関する意見」では、委員から様々な

	<p>意見が出されているが、このような形がよいのではないかということは明記されていない。見直しについては、慎重に行なうべきとの結果となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、小金井市では「障害」として表記しているが、（平成 23 年度から始まる）第 4 次の基本構想の中では、社会的に広がりつつあるひらがな表記をしていくことにて検討している。</li> <li>・しかし、「障害者計画」の中でも「障害のある人」としての表記の説明を行なっていることもあり、国や推進会議の動向などを見ながら、自立支援協議会内でも表記についての検討をお願いしたい。</li> <li>・今夏頃には、一定の方向が示されると思う。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに随時アップされているので、確認をしていただければと思う。</li> </ul>

（３）「東京の福祉保健の新展開 2010」について

矢野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京の福祉保健の新展開 2010」について資料参照。今年度の予算措置に関する都の資料となっている。</li> <li>・障害者の地域生活支援の充実について大きく掲げられている。そのための予算措置が示されている。</li> <li>・これらの状況も踏まえて、自立支援協議会内でも議論ができればと思っている。</li> </ul>
-------	--

（４）「心の安心マップ」について

富澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の安心マップ」について紹介したい。資料参照。</li> <li>・配布については障害福祉課と調整中。なるべく広く市民の方の手にわたるよう努めたい。</li> </ul>
佐久間委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口では必要に応じて配布している。しかし、情報が凝縮されているため、配布の仕方に工夫が必要と思っている。配布先に対し、混乱を与える可能性もあるので、その辺りも含め、今後相談をさせていただきたい。</li> </ul>

（５）事務連絡

事務局（熊倉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布した平成 21 年度第 5 回及び第 2 期第 1 回の議事録の確認をお願いしたい。修正等は、4 月 30 日までに事務局までご連絡いただきたい。</li> <li>・今期より委員謝礼については、銀行振り込みとなる。</li> </ul>
事務局（澤畠）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振込口座のお知らせ。会議開催翌月の月末払いになる。それに伴い、振込先口座申請書を次回会議までに障害福祉課まで提出をお願いしたい。</li> </ul>
事務局（熊倉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーや勉強会の実施についての要望もあったが、今年度の予算には計上されていない。そのため、今後要望等あれば、無料でお願いできる講師の先生を依頼したいと考えている。</li> </ul>
事務局（高田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都の職員や東京都の自立支援協議会をバックアップする役割を担っている機能もあるため、依頼は可能。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回日程は、5 月 17 日（月）。場所は、前原暫定集会施設 A 会議室にて行う。</li> <li>・課題の 1 について検討を行なう。よろしくをお願いしたい。</li> </ul>